



利根中央病院だより

# きらめき



第73号  
2024年 秋号

発行責任者 利根中央病院 病院長  
編集責任者 利根中央病院 事務長  
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1  
TEL：0278-22-4321（代表）  
FAX：0278-22-4393  
URL：https://www.tonehoken.or.jp/

## 健診センターの紹介

健診センターでは、日本人間ドック・予防医療学会の健診施設機能評価の認定を受けています。機能評価とえば、「病院機能評価」の方がより認知されており、現在全国で約2000施設が認定されています。群馬県では当院も含めて29施設が認定されています。対して「健診施設機能評価」は、年間500人以上の人間ドック受診者数という条件をクリアした施設だけが受審資格を得られ、現在全国で423施設、県内では当院を含め7施設のみが認定されています。

この審査は、常に質の改善活動を必要とする「人間ドック・健診」を更に安心して受けていただける施設であることを第三者の立場で評価するもので、①理念達成に向けた組織運営、②良質な健診の実践と事後管理、③質向上の取り組みと情報提供、の3領域から構成され計114項目によって厳しくチェックを受けます。医師の担当領域では「専門医による読影・判定が行われているか、二重読影・比較読影が実施されているか」といった体制の確立や、「必要十分な時間をかけて医療面接・診察・健診当日の結果説明が行われているか」などが細かく問われます。

当センターは、2008年に初の認定を受けて以来、現在まで5年毎の審査を更新し続け、2023年には最新基準での認定を取得しました。この取得に満足

健診センター長 おざわ けいすけ  
小沢 恵介



せず、更に改善できる点はないか日々向上を目指しております。

当センターの新しい取り組みとして、人間ドックのコース内にBNP検査を通常検査として取り組む予定です。院内の心不全プロジェクト・地域連携室と協力し、心不全早期発見を目的としたもので、実現に向けて現在準備中です。

また、脳神経外科医が増員されたことから脳ドックのコースが週2日を確保できるようになり、より多くの方が受診できるよう充実してきています。

今後も、さらに質の高い「人間ドック・健診」を提供できるようにスタッフ全員で努力を続け、地域の方の健康づくりにいっそう貢献していきたいと思っております。



健診センターのメンバー

## 認知症があっても安心して過ごせるように…

### ～「認知症ケア/身体拘束最小化チーム」の取り組み～

認知症サポート医・総合診療科科長 うしき 宇敷 もえ 萌



私たちは、「認知症ケア/身体拘束最小化チーム」として、認知症のある患者様が安心して治療を受けられるよう活動をしています。

2024年度の診療報酬改定では「医療機関における身体的拘束を最小化する取り組みを強化」し、身体的拘束を行わないための体制整備が求めています。

「身体拘束最小化チーム」では、看護師、医師、リハビリスタッフ、管理栄養士、相談員が集まり、週1回、各病棟を回って、患者様の行動制限をするような行ないがないか、身体拘束が不必要に行われていないか、薬剤の使用に問題がないかなどを確認して、改善の必要があれば調整をしています。

この活動は以前から行われていますが、身体拘束については、以前に比べ、減らすことができています。認定看護師から、看護師むけに薬剤についての

学習会も開催されました。転倒防止のためのベッドやポータブルトイレの配置の工夫や転倒時の衝撃緩衝マットの設置なども行っています。またラウンド以外にも日々の看護スタッフのミーティングで、身体拘束解除のためのカンファレンスも行っています。

これからも患者様が安心して治療を受けられるようスタッフ一丸となって取り組んでいきたいと思えます。



チームラウンドの様子



認知症ケア・身体拘束最小化チームのメンバー



## 産婦人科・総合診療科合同セミナー・個別相談会を開催

『お医者さんに聞いてみよう！生理のこと、  
カラダの不調のこと、HPVワクチンのこと』



産婦人科医長  
うらべ ゆめこ  
浦部 夢子

8月10日（土）に、産婦人科の医師・助産師、総合診療科の医師を中心に、地域の女性の方々に気軽にカラダの不調・不安について相談してもらえるよう、セミナー＆個別相談会を開催しました。本セミナーはNPO法人ラサーナとの共催で、地域の小中高生とその保護者の方が参加しやすいよう、夏休みに実施しました。

セミナーでは、産婦人科医からは月経異常に関する産婦人科受診の目安と、HPVワクチンについてお話しました。HPVワクチンのキャッチアップ接種（過去10年間で接種の機会を逃した方が、再度公費（無料）で接種することができる取り組み）の終了期限があと半年に迫っていますが、まだまだHPVワクチンについての周知は進んでいない印象

です。引き続き情報提供に努めていきたいと思えます。助産師からは助産師の仕事内容について、総合診療科医からは総合診療科の紹介と冷えや月経不順など女性の悩みの対処法について、我慢するだけでなく色々なアプローチの方法があること、ぜひ悩みを総合診療科にも相談してほしいことをお伝えしました。あわせて個別相談会・婦人科外来見学・検査技師による顕微鏡を用いた体験会も開催し、大変盛況な会となりました。

今後も幅広い年齢の女性を対象に、医師やコメディカルと直接お話しできるイベントができればと考えております。これからも地域の医療に貢献すべく、尽力してまいります。



セミナー・個別相談会の様子

## 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんま」に参加

10月12日（土）～13日（日）にALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンドにて開催され、院内の有志63名が参加をしました。

群馬県では2013年より開催されており、今回で10回目の参加となりました。

リレー・フォー・ライフとは、がんと戦う方々の勇気を称え、がん患者やその家族、周囲の方ががんと戦う連帯感を育むため、夜通し交代で歩くリレー

イベントとチャリティー活動の事です。

当院職員もリレーイベントに参加し、参加できなかった職員もルミナリエ（イルミネーションバック）に想いを託し会場へ届けました。当院はがん診療連携推進病院に指定されてもいますが、それに拘らず、がん患者様やそのご家族に寄り添う病院としてこれからも参加していきたいと思えます。



## きらめき トピックス

### 情報交換会を開催

9月27日（金）に『第11回沼田利根医師会・利根中央病院情報交換会』を開催し、総勢86名の参加となりました。

当院からは各科の医師より診療体制・診療内容についてのご案内、研修医の紹介をさせていただき、医師会の先生方からは日頃の患者紹介等に対する意見や感謝の言葉、研修医の先生方への温かい言葉など沢山いただき、励みとなりました。

今後も「顔の見える情報交換」を通して地域の先生方、関係者の方々とより一層良好な関係を保ちながら、当地域での医療完結を目指すための更なる連携強化が確認されました。



関原病院長より挨拶



研修医紹介



会場の様子